

# Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/09/08

## Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.08	-0.23
JPY/THB	0.2176	0.0000
USD/JPY	147.43	-1.06
EUR/THB	37.59	-0.05
EUR/USD	1.1717	0.0068
USD/CNH	7.126	-0.013
SGD/THB	24.97	-0.08
AUD/THB	21.03	-0.03
USD/INR	88.27	0.11
USD Index	97.77	-0.58

## Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.105	-0.018
10Y (THB)	1.249	-0.012
5Y (USD)	3.582	-0.064
10Y (USD)	4.074	-0.087

## Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,624.0	46.7
WTI (Oil)	61.87	-1.61
Copper	9,897.5	-0.5

## Stock

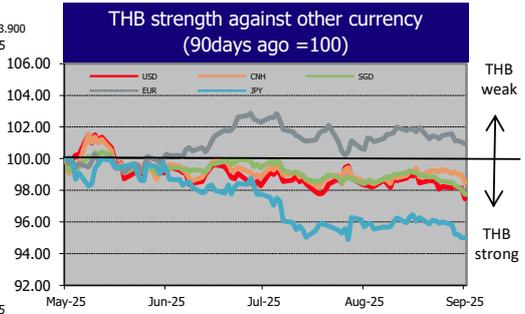
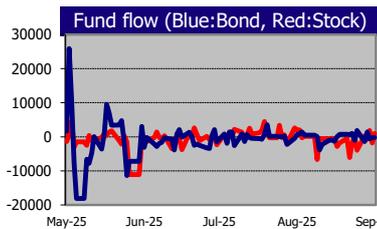
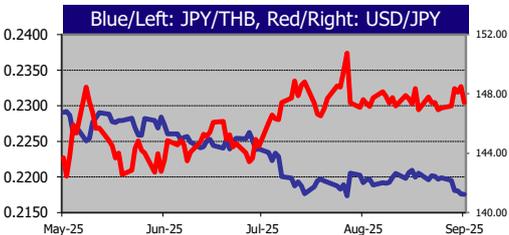
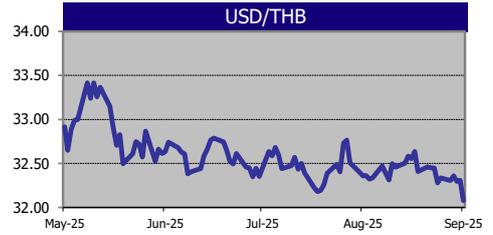
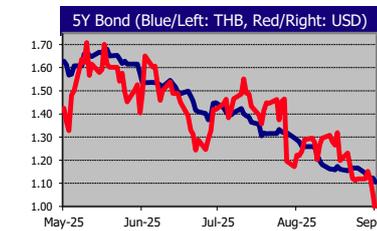
	Close	CHANGE
SET (TH)	1,264.80	12.25
NIKKEI (JP)	43,018.75	438.48
DOW (US)	45,400.86	-220.43
S&P500 (US)	6,481.50	-20.58
SHCOMP (CN)	3,812.51	46.64
DAX(GER)	23,596.98	-173.35

## Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,006	2787.3
Bond net flow	(196)	0.0

\*compared with previous day

(Source: Bloomberg)



## Yesterday's market summary

### ●ドルパーツ

5日(金)のドルパーツは32.20パーツ台後半で取引を開始。米雇用統計の下振れリスクが意識されてか、序盤からドル売り優勢で、一時32.10パーツ台まで下落。欧州時間入り後、タイ首相にタイ誇り党のアヌティン氏が選出されるも、想定通りの結果ということもあり、為替において特段の反応は見られなかった。その後、米雇用統計の発表を控え32.10パーツ台後半の狭いレンジで推移。NY時間朝方に発表された米8月雇用統計で、非農業部門雇用者数変化が予想を大幅に下回った事に加えて、失業率も先月の結果より上昇した事を受け、32パーツ手前まで下落。午後は米金利が下げ幅を縮小する動きを背景に32.00パーツ台後半まで値を戻し、同水準にてクローズ。

### ●ドル円その他

5日(金)のドル円は148円台前半でオープンすると序盤からドル売り優勢で、一時148円手前まで下落。自民党総裁選の前倒しを巡り、本邦財政懸念が残る中では下値も限定的で、その後は148円台前半での小動きが続いた。同水準で欧州時間に渡ると、米雇用統計の発表を控えて方向感なく推移。NY時間朝方に発表された米8月雇用統計の予想を大幅に下回る軟調な結果を受け、146円台後半まで下落。午後は米金利が下げ幅を縮小する動きを背景に147円前半まで値を戻し、同水準にてクローズ。

## Bangkok Dealer's Eye

先週5日(金)に発表された米8月雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比で+22千人となり、市場予想(同+75千人)を大きく下回った。過去2か月分についても、7月分こそ上方修正されたものの(同+73千人→+79千人)、6月分は同+14千人から▲13千人に下方修正され、およそ4年半ぶりに前月比で雇用者数が減少したという結果が明らかになった。これを受けて市場は年内、残り3回のFOMC(9月、10月、12月)での連続利下げの織り込みを加速させている他、今月のFOMC(16-17日)での0.50%利下げを見る向きも僅かに始めている。ドルパーツ相場については、雇用統計の結果を受けて、7月下旬に付けた直近安値を下抜ける動きを見せた。32割れは何とか回避したものの、為替相場についてはアヌティン・タイ新首相誕生といったタイ国内政治動向よりも米金融政策、といったトレンドを再確認できたと言えよう。そうすると、16日から始まるFOMCまでに、米8月CPI、PPI、小売売上高といった重要経済指標の発表が予定されているが、その結果が短期的なドルパーツ相場を見るうえで非常に重要なものとなりそうだ。(末廣)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.